

## 歌って笑って おん カイカン！開催

仙北市誕生を記念し、市民会館自主事業として、7月30日、『歌って笑って おん カイカン！』が、市民会館を会場に開催されました。

当日は、紫の学生服がトレードマークの藤正樹さんや「わかるかなあ～ わかんねえだろうなあ」のフレーズで知られる松鶴家千とせさん、寅さんスタイルで声帯模写の原一平さん、プロマジシャンのケン正木さんによる奇術、女優として活躍する十勝花子さんの漫談などが披露されると、会場中が笑いの渦に包まれました。

また、司会を務めた宮たけ志さん(本名=川瀬正喜さん・田沢湖神代出身)の友情出演として、元読売ジャイアンツの堀内恒夫監督が登場すると、会場からは大きな拍手がわき起こりました。

堀内監督は、テレビ中継では知ることが出来ない、プロ野球の裏側を愉快に、楽しく話してくれました。



元読売ジャイアンツ監督の堀内氏(右)

## 自然の魅力に親しむ機会を 玉川ダム交流会



魚のつかみどりをして楽しむ児童(玉川ダム下流公園)

河川愛護月間、森と湖に親しむ旬間行事の一環として、7月25日、玉川ダム交流会(同実行委員会主催)が開催されました。

当日は、市内の小学校10校の4年生225人と関係者が参加しました。参加した児童は8組に分かれ、担当者の案内でダム堤体の内部や中和処理施設、発電施設を見学し、ダムの役割や水の大切さを学びました。

また、ほかの学校の児童と交流を深めながら昼食をとった後、魚のつかみどりをして楽しみました。

## 第5回田沢湖キャンプで市内の小学生が交流

8月8日から11日までの3泊4日の日程で、第5回田沢湖キャンプが開催されました。

このキャンプは、市内の小学2年生から6年生を対象とする希望者46人が参加し交流を深めることと、インストラクターの養成を目的に行われているもので、田沢湖キャンプ場に2泊、思い出の漏分校に1泊しました。

参加した子どもたちは、6班に分かれて、カヌーを楽しんだり、農作業を手伝って夕食の材料をもらったり、清掃をしながら湖畔をウォーキングをして交流を深めました。また、各班にはインストラクターを目指すスタッフが県内外から参加しました。



キャンプ場を出発し漏分校に向かう子どもたち